

施策分野評価シート

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	6	便利で快適に暮らせるまち
施策分野	1	計画的なまちづくりの推進
10年後のめざす姿	既存市街地や市街化調整区域においても、時代の変化をふまえつつ地域の実情に合わせた、快適で生活の質が高いと感じられる空間が形成されています。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
説明・コメント						-

3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	399,855				
国庫支出金	178,661				
都支出金	146,511				
地方債及びその他の特定財源	695,832				
総事業費(計)	1,420,859	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	312,665				
国庫支出金	220,100				
都支出金	220,700				
地方債及びその他の特定財源	564,296				
総事業費(計)	1,317,761	0	0	0	0

施策の評価(分析)

多摩都市モノレール延伸により町にとって大きな変化が起きる事は容易に想定できる。第5次瑞穂町長期総合計画の将来都市像にもある、新たなまちの魅力が創成されるよう期待している。

4 重点施策

4 重点施策			担当課	都市計画課
施策	1	多摩都市モノレール延伸と一体となった駅周辺の整備	基本構想・重視すべき視点	町の魅力を際立たせる
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	令和4年9月30日を履行期限とし、令和3年10月11日に沿線まちづくり検討業務委託に着手した。今後は、この検討結果を踏まえ、更に詳細なまちづくりの事業手法等の検討が必要となる。		多摩都市モノレール延伸に伴う新駅を見据え、沿線まちづくりの検討が開始された。目標達成に向けて、土地区画整理事業と連携し推進されたい。	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

			担当課	都市計画課
施策	2	計画的な土地利用の推進	基本構想・重視すべき視点	町の魅力を際立たせる
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	土地利用に関する問合せや届出等に適切に対応し、町の都市計画に適合した土地利用へ誘導した。また、令和6年度の用途地域等の一斉見直しに向けた準備を随時行った。		用途地域等の見直しには、時間がかかることは理解している。上記重点施策と連携し、都市計画マスタープランを踏まえ、適切に進められたい。	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

			担当課	都市計画課
施策	3	土地区画整理事業の推進	基本構想・重視すべき視点	町の魅力を際立たせる
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	箱根ヶ崎駅西・殿ヶ谷地区については、事業完了に向け整備を進めた。また、栗原地区については、必要な事業費を助成するとともに、土地利用意向調査に向けた準備を行った。 【事業進捗率】 殿ヶ谷:建物移転 約87% 道路築造 約86% 箱根ヶ崎駅西:建物移転 約99% 道路築造 約95%		事業完了に向けて、計画的な開発事業への誘導を行い、事業遂行に向け指導されたい。さらに、多摩都市モノレール延伸に伴う事業系用途に適した整備に向けて準備されたい。	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	計画的な市街地形成に関する事業	都市計画課	8,101	7,267	7,689
<p>事務事業の概要</p> <p>・町都市計画マスタープラン等に基づく都市計画の内容に適合した土地利用の案内、誘導・地区計画に基づく良好な市街地環境の形成、保持のための届出による審査、勧告・町宅地開発等指導要綱に基づく、無秩序な土地利用の抑制・墓地等の経営の許可等に関する条例に基づく、墓地の適正管理と新規墓地の厳格な審査・都施行の都市計画道路の早期事業化、早期整備に向けた都西多摩建設事務所との行政連絡会の開催及び随時連携</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	土地区画整理支援事業(栗原地区)	都市計画課	3,081	3,081	3,086
<p>事務事業の概要</p> <p>栗原地区については、国道16号や圏央道へのアクセス道路等の道路交通網の整備効果を活用した地区整備を目指し、地域住民の意見を尊重することは当然のこと、地区の実情及び構想にあった、計画づくりの支援を行う。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	土地区画整理組合施行事業(殿ヶ谷)	都市計画課	200,000	200,000	150,000
<p>事務事業の概要</p> <p>殿ヶ谷地区は、町の東端及び一部武蔵村山市の行政界を含んだ面積約39haの地区である。地区の大部分が工業地域に指定されており、当町の産業基盤を担う重要な工業ゾーンとして位置づけられている。このゾーンの環境整備を行い、新青梅街道の沿道条件を活かした土地の有効活用と、一部既存住宅の再編整備を行い、適正な土地利用を展開することが目的である。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
4	土地区画整理町施行事業(駅西)	都市計画課	1,209,677	1,103,953	762,703
<p>事務事業の概要</p> <p>本地区は、JR八高線箱根ヶ崎駅に隣接し、町の中心市街地を形成する位置にありながら、都市基盤が未整備のまま市街化が進み、交通、排水等居住環境の悪化が進んでいた。このため、本地区について土地区画整理事業の実施により、道路、公園などの整備を行うとともに宅地の利用増進を図り、駅周辺の活性化と健全な市街地の形成を図ろうとするものである。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
5	多摩都市モノレール沿線のまちづくり	都市計画課	0	3,460	3,844
<p>事務事業の概要</p> <p>新青梅街道沿道や既成市街地を含め多摩都市モノレール延伸と一体となった整備の方向性を明確にし、利便性の高い快適に住み続けられるまちづくりをすすめる。また、箱根ヶ崎駅やモノレール新駅において、新たなにぎわいの創出や多様な人々の交流の拠点として、新しい町の顔づくり、交通結接点となる地域の拠点づくりを目指す。</p>					
合計額			1,420,859	1,317,761	927,322